

# 担い手通信

vol. 02

農水省のプロジェクトで同市が提案する二つの水田作の実証プロジェクトが採択され、それぞれの連携事業者と共にコンソーシアムを設立しました。

スマート農業複合経営11者でつくる「新潟市スマート農業複合経営」の種をまきました。1人の作業で2台分の作業ができます。直進アシ

また、情報通信技術(ICT)を使った自動給水栓も実演しました。水田から離れた位置からでもスマホで水位や水温が確認でき、給水時間や量なども設定できるといいます。実証に参加する白銀カルチャーの荒木康男代表は「スマート農業で土地利用型農業を効率化し、労力を低減することで高収益な園芸作物を導入したい。経営を安定させ、地域に貢献することで後



実演では、無人の自動運転トラクター④が耕うんした後を有人の直進アシストラクターで大豆の種をまいた(29日、新潟市で)

スマート農業技術の開発・実証プロジェクトに取り組む新潟市などは5月29日、新潟市で共同記者会見と併せて農機の実演を行いました。大規模圃場(ほじょう)で自動運転トラクターと直進アシストラクターによる大豆播種(はしゅ)の協調作業や自動給水技術などを実演。今後、2年間の実証を経て、作業の省力化や作物の高品質化などにつなげていきます。

また、情報通信技術(ICT)を使った自動給水栓も実演しました。水田から離れた位置からでもスマホで水位や水温が確認でき、給水時間や量なども設定できるといいます。実証に参加する白銀カルチャーの荒木康男代表は「スマート農業で土地利用型農業を効率化し、労力を低減することで高収益な園芸作物を導入したい。経営を安定させ、地域に貢献することで後

継者の育成につなげたい」と意気込みます。9者が連携する「スマート農業企業間連携実証コンソーシアム」では、スマート農機や人工衛星、ドローン(小型無

人飛行機)などから得られたデータを栽培管理システム「アグリノート」で一元管理できることを紹介。水稲経営の収入6%増を目標に掲げています。

## 先進事例情報

### 新潟市など 無人トラクター実走 省力化、高品質化めざす

技術開発・実証プロジェクト 各地で

## 営農技術ピックアップ

### ウンシュウミカン園における褐色腐敗病を予防 マルチ栽培で土壌の跳ね返りを防止

このコーナーは、三重県農業研究所の「研究成果情報」に基づき制作し、県内に広く研究成果を紹介しています。

カンキツに感染し腐敗被害をもたらす「褐色腐敗病」。病原菌により成熟した果実が樹上で褐変し腐ってしまう病気です。県内では温暖で降雨量の多い東紀州地域で発生しやすく、年によっては問題となります。

褐色腐敗病は主に台風などの激しい降雨で土壌が跳ね返った際に病原菌が果実に付着することで発生するため、地面に近いすそ部に発生する傾

向が見られます。また、病原菌の付着から発病までの期間が短く、一度発生すると、降雨ごとに次々と広がります。

農業研究所は病原菌の付着を、高品質果実生産に利用されるマルチシートの敷設で物理的に防止する効果に着目し現地調査を行いました。

熊野市、御浜町および紀宝町の極早生ウンシュウミカン園(露地栽培、マルチ栽培それぞ

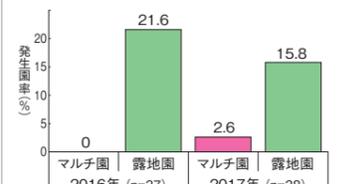
れ約40園地)を調査した結果、2016年調査では露地栽培での褐色腐敗病の発生園率は2割を超えましたが、マルチ栽培での発生は皆無でした。17年調査でもマルチ栽培での発生は1園地だけに止まり、マルチシートの敷設が発病予防に効果的であることが明らかになりました。

ただし、発病予防のために

は、農薬による防除を併せて行う必要があります。

また、安定した防除効果を得るためには①シートの敷設は完全に②シートの上は清浄に③園地内に雨水を滞水させず排水するように注意してください。

#### 調査園における褐色腐敗病発生園率



※調査園地は熊野市、御浜町および紀宝町の極早生ウンシュウミカン園。1園地につき20樹調査。調査日は2016年9月23日、2017年9月22日

【お問い合わせ先】 紀南果樹研究室 ☎ 0597-92-0008



## さあ、農業について 学びに行こう!!

### オープンキャンパス実施します



8月22日(木)、25日(日) 9時30分~15時15分

※詳細は、HPをご覧ください。

### 令和2年度学生募集

二年課程 | 30名程度 一年課程 | 10名程度

- 推薦入試**  
願書受付 ▶ 令和元年10月1日~10月17日  
試験日 ▶ 令和元年10月25日  
合格発表 ▶ 令和元年11月5日
- 一般入試(前期)**  
願書受付 ▶ 令和元年11月19日~12月5日  
試験日 ▶ 令和元年12月13日  
合格発表 ▶ 令和元年12月24日
- 一般入試(後期)**  
願書受付 ▶ 令和2年2月18日~3月5日  
試験日 ▶ 令和2年3月13日  
合格発表 ▶ 令和2年3月19日

専修学校 **三重県農業大学校**  
〒515-2316 三重県松阪市壇野川北町530  
☎0598-42-1260 ☎0598-42-5835  
<http://www.pref.mie.lg.jp/nodai/hp/index.htm>

農業を営むすべての方を応援します!

## 農業経営資金

5年(当初5年負担軽減後) 0.2% (変動金利)

※表示金利は2019年7月1日時点のものです。※利子補給・金利引下げ後の当初負担金利は0.2%を下回らないように調整されます。※JAバンク保証料助成により、実質保証料が0円になります。

取組期間 2019年4月1日~2020年3月31日

- トラクターなど農業機械購入
- 栽培用ハウス・畜舎建設
- その他農業経営に必要な資金に

## 実質保証料負担

保証料全期間 全額助成! 0円

詳しくは、お近くのJAバンク窓口までお問い合わせください。  
<http://www.jamie.or.jp/jabanking/agri/>

2019年7月1日現在